



新春に歩いて健康！642人が完歩

第47回新春歩け歩け大会 1月3日

下妻市恒例の「新春歩け歩け大会」が1月3日の早朝、「Waiwaiドームしもつま」を発着点に開催され、市民など約642人が参加しました。今回から新コースとなり「Waiwaiドームしもつま」を出発し、国道125号線を通って大宝八幡宮を経由、大串から市立総合体育館を通って「Waiwaiドームしもつま」に戻ってくるもの。歩いたコースは約8.8km。先頭集団は、約1時間半で歩きました。ゴール地点では、参加賞のダルマが手渡され、温かいおしるこなどが振る舞われました。さらに、福袋の抽選もあり、毎年楽しみに参加しているという60代女性からは「コースが変わったが歩きやすかった。今年は抽選にも当たって縁起がいい。これからもできるかぎり続けて参加したい」と話しが聞けました。



Waiwaiドームからスタートする参加者

JA常総ひかりの「くらしの活動」の一環でハクサイ収穫体験が行われました。9月に定植し、大きく育ったハクサイを大形小学校5年生30人が7班に分かれ収穫および箱詰めを行いました。収穫したハクサイは実際に市場に並ぶもので、児童は農家の方やJA職員の説明を聞きながら一生懸命収穫に取り組みました。収穫体験の後には、JA職員が用意したハクサイたっぷりのキムチ鍋が振る舞われ、児童たちは旬のハクサイの味を堪能しました。

大きく育ったハクサイ収穫

大形小学校5年生が白菜収穫体験 12月20日



JA職員と収穫作業をする児童



ボランティアの読み聞かせを聞く参加者

本に触れるきっかけに

あかちゃんのためのおはなし会 12月20日

図書館ボランティアしもつまの協力のもと「あかちゃんのためのおはなし会」が市立図書館の児童室おはなしコーナーで行われました。対象年齢は0～2歳で、今回は8組の親子が参加し、大型絵本の読み聞かせや、わらべうたを歌いながら体を動かす親子あそびを楽しみました。参加した荒川結菜ちゃん(1歳)と荒川直子さん親子は「家では、なかなか読み聞かせができないので、ボランティアさんが読む絵本を子どもを抱っこしながら聞けるのがいいです。子どもにも本を好きになってほしいので、また参加したい」と感想がありました。次回は、3月22日(木)11時から開催予定です。



燃え上がる炎に祈願する参加者

燃え上がる炎に一年の無事を祈願

高道祖地区どんど焼き 1月13日

無病息災、五穀豊穡を願い竹で組んだやぐらにしめ縄などの正月飾りを積み上げて燃やす小正月の伝統行事「どんど焼き」が「青少年を育てる市民の会高道祖支部」主催により、小貝川ふれあい公園高道祖駐車場を会場にして行われました。参加者たちは、竹が爆ぜてパンパンと会場に鳴り響く大きな音に驚きながら、燃え上がる炎に一年の無事を祈願していました。同会高道祖支部長の齋藤善夫さんは「台風の影響で藁集めに苦労し、子ども育成会の皆さまにも頑張ってもらった。地域で協力し合わないとできない行事。地域のつながりを大切にして、これからも伝統行事を守っていきたい」と地域への思いを話してくれました。

新しい年に下妻市の飛躍を誓い合う

2018年下妻市新春の集い 1月16日

新春恒例の「2018年下妻市新春の集い」が1月16日、下妻市、下妻市商工会、常総ひかり農業協同組合の共催により八幡屋で開催されました。集いでは、主催者を代表して稲葉市長が「今、下妻では、これまでまいたまちづくりの種が芽吹き、育ち、まさに花を咲かせようとしている。皆さまのご協力をいただきながら、農・商・工のバランスが取れた大輪の花を咲かせたい」とあいさつした後、平成29年叙勲・褒章の栄典者10人に記念品が贈られました。会場では、市長をはじめ地元選出の国会議員、県議会議員、市議会議員、各種団体や市関連企業の代表者など233人の参加者が、新年のあいさつを交わしながら談笑するなど和やかな雰囲気の中で、新しい年に下妻市の飛躍を誓い合いました。



飛躍の年を祈念して万歳三唱

地域の文化財は地域の力で守る

文化財防火デー「消防訓練」 1月21日

昭和30年1月に第1回文化財防火デーが開催されて以来、今年で64回を数える「消防訓練」が1月21日、国指定の重要文化財「大宝八幡宮本殿」を有する大宝八幡宮の境内で行われ、下妻消防署や消防団、八幡宮職員、地元住民など約80人が参加しました。訓練に先立ち、横瀬教育長が「本殿が400年以上被害を受けていないのは、皆さんの協力と訓練の成果である。地域の財産は地域で守り、次に伝承する責務がある」とあいさつ。社務所から出火したことを想定した訓練では、地域住民と八幡宮職員が消火器で初期消火を行い、拝殿への延焼拡大を想定した消火訓練では消防署員と消防団第3分団が連携して本番ながら放水し、迅速な消火活動を展開しました。



連携して放水する消防署員と消防団員

新年の幸せ祈る大宝八幡宮、初詣でにぎわう

飛躍の年にと飛び回る猿の秀吉くん 1月1～3日



飛躍の年を願い跳躍する秀吉くん

戊年の2018年を迎えた1日未明から、大宝八幡宮にはたくさんのお参り客が訪れ、参拝者は次々と賽銭を投げ入れ、家内安全や無病息災などを願って手を合わせ、新しい1年の幸を祈っていました。1～3日には、訪れる参拝者が飛躍の年になるように日光猿軍団の猿回しが行われ、猿の秀吉くんが太鼓に合わせて竹馬や跳躍を披露し会場を楽しませていました。毎年初詣に訪れる市内在住の男性(70代)は「毎年、参拝しているが、ここでの猿回しは初めてだ。子どもたちも楽しそうで、縁起がいい。みんなが飛躍の年になると良い」と話し初詣をしていました。



囃子と神輿で新年を迎える参加者

地域発展を願い神輿とお囃子で新年を迎える

ゆく年・くる年奉納神輿渡御 12月31・1月1日

愛宕八坂神社(大町)の境内と参道で、町内の安全と発展、1年のお礼と新年の無事を祈願して「愛宕八坂神社で新年を迎える会」が主催する「ゆく年・くる年奉納神輿渡御」が行われ、大町はやし保存会の祭囃子が演奏される中、地元をはじめ近県から集まった担ぎ手が勇壮に練り歩きました。今年の年越し祭には約100人が参加して、大晦日の11時45分から始まり、神輿とお囃子で新年を迎えていました。この年越し祭は、地域活性化と神社に思い入れのあるメンバーが中心に行い、今年が9回目。同会の平井竜也さん(下妻丙・大町)は「この活動で地域が明るく元気になってもらえらう。地域の皆さんと参加者が健康で楽しく過ごせる1年がありますように」と新年の願いを込めました。